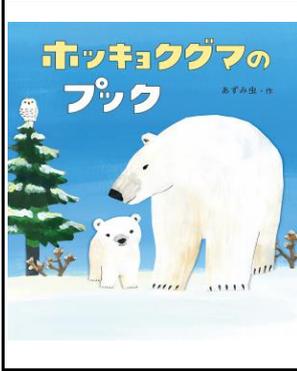
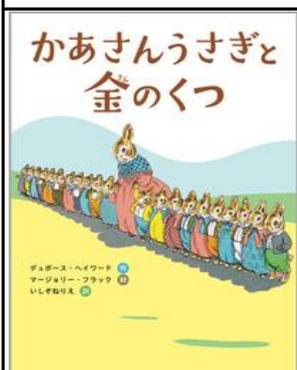
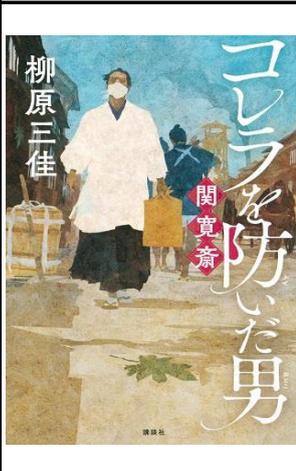


別表2

(2022-4回)

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">1</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ホッキョクグマのブック</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 あずみ虫</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>童心社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2023年1月</td></tr> </table>	1		書名	ホッキョクグマのブック	著者等	作 あずみ虫	出版社	童心社	定価	1,500	対象	幼児～小学校低学年	発行	2023年1月	<p>さむい冬のある日、ホッキョクグマのあかちゃんがうまれた。名前はブック。ブックはあたたかいおかあさんのうでの中ですくすくと育った。春になるとブックは、はじめて巣穴の外に出た。はじめてみる外の世界は、とてもひろくて見たことのないものがいっぱい。トウヒの木のあいだを走りまわったり、ヘラジカに会いさつしたり、とんでいるシロフクロウをおいかけたり、元気いっぱいのブック。ところがある日…。アラスカを拠点に活動している著者が野生動物を取材して描いた物語絵本。アルミ板をカッティングする技法が作品に生かされている。</p>
1																
書名	ホッキョクグマのブック															
著者等	作 あずみ虫															
出版社	童心社															
定価	1,500															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2023年1月															
		(分類番号 913)														
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">2</td></tr> <tr><td>書名</td><td>あずきがゆばあさんととら</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>文 パク・ユンギョ 訳 かみやにじ 絵 ペク・ヒナ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>偕成社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年10月</td></tr> </table>	2		書名	あずきがゆばあさんととら	著者等	文 パク・ユンギョ 訳 かみやにじ 絵 ペク・ヒナ	出版社	偕成社	定価	1,300	対象	幼児～小学校低学年	発行	2022年10月	<p>むかし、あずきがゆを煮るのがとても上手なあずきがゆばあさんがいた。春のある日、あずき畑でとらに食べられそうになったばあさんは、冬至にきておいしいあずきがゆをたらふく食べてから、私をがぶっと食ったらいと話難をのがれる。冬至の日、泣きながらあずきがゆを煮ているばあさんのところへ、くりやすっぱん、石うすやむしろ、しょいこなどが次から次へとやってきて…。「さるかに合戦」に似た韓国の昔話絵本。アストリッド・リンドグレン記念文学賞作家が、人形劇と絵を組み合わせた独特の世界を描く。</p>
2																
書名	あずきがゆばあさんととら															
著者等	文 パク・ユンギョ 訳 かみやにじ 絵 ペク・ヒナ															
出版社	偕成社															
定価	1,300															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2022年10月															
		(分類番号 726)														
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">3</td></tr> <tr><td>書名</td><td>草原が大好きダリアちゃん</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 長倉洋海</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>アリス館</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2023年1月</td></tr> </table>	3		書名	草原が大好きダリアちゃん	著者等	作 長倉洋海	出版社	アリス館	定価	1,500	対象	幼児～小学校中学年	発行	2023年1月	<p>ダリアは5才の女の子。家族とたくさんのトナカイたちと、シベリアに住んでいる。トナカイの食べもののために一年に何度も移動しながらテントで暮らす。冬はマイナス40度の寒さになり、外が雪でもトナカイの皮を120枚も重ねあわせたテントの中はあたたかい。4月になって春が近づいてくると、夏に過ごす草原に向けて大移動するダリアたち…。ベリーをつんだり湖で洗濯をしたり、水くみのお手伝い…。草原で生き抜く、たくましさやほこり。自然や家族とともにあることの楽しさや愛しさが伝わってくる写真絵本。</p>
3																
書名	草原が大好きダリアちゃん															
著者等	作 長倉洋海															
出版社	アリス館															
定価	1,500															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2023年1月															
		(分類番号 384)														
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">4</td></tr> <tr><td>書名</td><td>かあさんうさぎと金のくつ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 デュボース・ヘイワード 訳 いしぞねりえ 絵 マージョリー・フラック</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>徳間書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,700</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年3月</td></tr> </table>	4		書名	かあさんうさぎと金のくつ	著者等	作 デュボース・ヘイワード 訳 いしぞねりえ 絵 マージョリー・フラック	出版社	徳間書店	定価	1,700	対象	幼児～小学校中学年	発行	2022年3月	<p>イースターうさぎは毎年イースターの日に、きれいな色やもようをつけたたまご「イースターエッグ」を子どもたちに届ける仕事。うさぎの中で、かしこくて心やさしく、足のはやい5匹が、選ばれることになっている。21匹の子どもを育てる母さんうさぎフワフワの小さい時からの夢は、世界中の人に幸せのたまごを届ける5匹のイースターうさぎに選ばれること…。あるひ、イースターうさぎに欠員ができたと聞いた、母さんうさぎのフワフワは…。アメリカで長い間読みつがれてきた、カラーさし絵がたっぷりの幼年童話。</p>
4																
書名	かあさんうさぎと金のくつ															
著者等	作 デュボース・ヘイワード 訳 いしぞねりえ 絵 マージョリー・フラック															
出版社	徳間書店															
定価	1,700															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2022年3月															
		(分類番号 933)														
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">5</td></tr> <tr><td>書名</td><td>草はらをのぞいてみればカヤネズミ：日本でいちばん小さなネズミの物語</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>文 ゆうきえつこ 写真 福田幸広</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>小学館</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年7月</td></tr> </table>	5		書名	草はらをのぞいてみればカヤネズミ：日本でいちばん小さなネズミの物語	著者等	文 ゆうきえつこ 写真 福田幸広	出版社	小学館	定価	1,300	対象	幼児～小学校低学年	発行	2022年7月	<p>ススキやエノコログサ、いろいろな草がたっぷりの草はらに、大きさ10センチメートルのまんまるな草のボールがあった。これはカヤネズミが作った巣だ。カヤネズミは、体長6センチメートル、体重7グラムの日本でいちばん小さいネズミ。巣の中ではお母さんが8匹の赤ちゃんを産んだ。カマキリに狙われると、準備しておいた別の巣へ。巣立ちまで18日、年に何度も子育てするカヤネズミ。小さな体でたくましく奮闘するカヤネズミの子育て、巣作り、食事の姿を生き生きととらえた写真絵本。特殊カメラで撮影したカヤネズミの表情が愛らしい。巻末には解説がある。</p>
5																
書名	草はらをのぞいてみればカヤネズミ：日本でいちばん小さなネズミの物語															
著者等	文 ゆうきえつこ 写真 福田幸広															
出版社	小学館															
定価	1,300															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2022年7月															
		(分類番号 489)														
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">6</td></tr> <tr><td>書名</td><td>リパの庭づくり</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作・絵 福井さとこ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>のら書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年～中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年11月</td></tr> </table>	6		書名	リパの庭づくり	著者等	作・絵 福井さとこ	出版社	のら書店	定価	1,500	対象	小学校低学年～中学年	発行	2022年11月	<p>ある日、うでのいい庭師のリパがリシュカおばさんをたずねると、庭は草が生え家はツタでおおわれ、おばあさんは家の中で椅子に座っていた。ねこのマリーがいなくなってひとりぼっちになり、元気をなくしていた。リパは人のことばがわかる野鳥のシーコルに空から庭を見てもらい、庭を作りなおす計画を立てる。そして、草をぬき、土をたがやした。すると、カタツムリがやってきて、アリがスミレの種を運び、ミミズが土を作り、バラについてのアブラムシにテントウムシがやってきた。雨がふり、おひさまの光をあび、植物が育っていく。そして、ねこのマリーが家族を連れて現れる。庭がもどるとおばあさんも元気になった。庭師のリパが、庭づくりで、生き物と植物と人間のつながりを取りもどす物語。</p>
6																
書名	リパの庭づくり															
著者等	作・絵 福井さとこ															
出版社	のら書店															
定価	1,500															
対象	小学校低学年～中学年															
発行	2022年11月															
		(分類番号 726)														

	7		<p>すまこの家の工場ではおとうちゃんが子ども用自転車の補助輪を作っている。のんびりした性格のすまこは補助輪付きの自転車に乗っていたが、おとうちゃんは春休みのあいだに補助輪をとって乗れるようにと練習させる。近所の鉄製品を作る町工場の仲間たちとおとうちゃんとの支え合い、仲良しのえっちゃんとの友情も温かい。そんなとき、おなかに赤ちゃんがいるおかあちゃんが機械で手にけがをしてしまう。おかあちゃんをいたわり、自転車の練習もがんばるすまこは、やがて補助輪がいらなくなる。大阪の町工場を舞台に、のんびりした性格の少女が家族への思いやりや友情を育み、成長する物語。</p>
	書名	ほじょりん工場のすまこちゃん	
	著者等	作 安井寿磨子	
	出版社	福音館書店	
	定価	1,100	
	対象	小学校低学年～中学年	
発行	2022年2月	(分類番号 913)	
	8		<p>ひろった子ねこのルルを飼うために、「カステラアパート」に引越した四年生のこのみ。大家の皿目さんは千太郎という名のカメを飼っている、少し変わったおばあさんだった。このおばあさんをザラメさんと呼んだ。アパートには、フジという名のねこを飼う川田さん、テツオという犬を飼う大学生の杉山さんも住んでいる。ある日、ネコのフジがいなくなって、みんなで探すうち、このみはザラメさんがカメの千太郎と話ができることを発見する。カップを先祖にもち、他の人よりも寿命が長く長生きしてひとりぼっちになったザラメさん。アパートのみんながいて救われていた。生き物を愛するカステラアパートの住民たちの温かな関係を描いた物語。</p>
	書名	カステラアパートのざらめさん	
	著者等	作 島村木綿子	
	出版社	Gakken	
	定価	1,400	
	対象	小学校中学年	
発行	2022年12月	(分類番号 913)	
	9		<p>なだらかな山々と棚田に囲まれた山村で米農家を営む家族と暮らしている龍平。5年生の春、龍平は自分の棚田をもらい、田植えをした。早春にはフキノトウやナズナを摘み、田植えの頃には友だちとタラノメなどの山菜を取る。夏が近くなるとカブトムシや川の魚を取ったりしていた。夏休み、都会からいとこのさよ子がやってくる。はじめは気まずい思いをしていたが、いっしょに川とびをしたり、蛍をとったりして仲良くなる。移住者もやってくる村。</p> <p>秋、自分の米が実り収穫し、充実感を得る。そんなある日、ばあちゃんが倒れて亡くなってしまふ。家族は悲しみを抱えながら、生活する。やがて次の春が巡って来る。自然豊かな山村で暮らす三世代家族の中で、成長していく少年の物語。</p>
	書名	さよ子のいた夏	
	著者等	作 依田秀人	
	出版社	文研出版	
	定価	1,400	
	対象	小学校高学年	
発行	2022年11月	(分類番号 913)	
	10		<p>絵菜のおかあさんが、おばあちゃんのうめこさんがやっていた雑貨店のあとに、「スウィート・スメル」というハンドメイドの店を開いた。店の前には大きな鉢に植えられたキャラメルの木(桂)が置かれている。転校してきた夏香さんが店に置かれていた、うめこさん手づくりのお人形に目を止める。小さいときにおばあさんといっしょに店に来たことがあったのだ。夏香さんはお父さんを亡くし、言葉がうまく出なくなっていた。町のはずれに「このき図書館」ができ、みんなで行くと、ラビさんという女性がいて、そこにも大きなキャラメルの木があった。その木の記憶をたどるうち、記憶を亡くしかけた夏香のおばあさんとラビさんがキャラメルの木によって結ばれていたことを知る。人と人とを結ぶ木の物語。</p>
	書名	キャラメルの木のみつ	
	著者等	作 熊谷千世子	
	出版社	文研出版	
	定価	1,400	
	対象	小学校高学年	
発行	2022年12月	(分類番号 913)	
	11		<p>タリーは10歳の女の子、自分の考えや好みが周囲に理解されず、空気が読めずにトラブルになっては傷ついている。自閉スペクトラム症と診断されたが、うまくいかない自分が大嫌いだ。そんなとき、学校で劇を発表することになった。主役は自分しかないとはりきっていたタリーの役割は照明係、しかもクラスで孤立する変わり者のマイルズと一緒にだった。巻き返しを図りたいタリー。するとある日思いがけないことが起こって……。タリーが周囲の人たちに支えられながら、障がいや自分の特性として受け入れ、自分を愛せるようになっていく過程を丁寧に描いた心温まる物語。作者のリビー・スコットもタリーと同じ特性をもつ。10歳のとき書いた文章を母親がSNSで発信したところ、注目されてこの物語が生まれた。当事者のいらだちの裏にある切なさや願いがひしひしと伝わってくる、すべての世代が読みたい物語。</p>
	書名	わたしはスペクトラム	
	著者等	著 リビー・スコット/レベッカ・ウエストコット 訳 梅津かおり	
	出版社	小学館	
	定価	1,500	
	対象	中学生～	
発行	2022年11月	(分類番号 933)	

	<p>12</p> <p>書名 ダーウィンのドラゴン</p> <p>著者等 著 リンゼイ・カルビン 訳 千葉茂樹</p> <p>出版社 小学館</p> <p>定価 1,500</p> <p>対象 小学校高学年～</p> <p>発行 2022年11月</p>	<p>ビーグル号でガラパゴス諸島を訪れていたダーウィンと助手の少年シムズは、ある島を探索中嵐に遭遇しはぐれてしまう。シムズは一人孤島に漂着したが、頻りに火山が噴火し、水も食べ物もないうえに、空を飛ぶ謎の巨大生物に何度も襲われる危険極まりない場所だった。もはや絶体絶命かと思われた時、小さな緑のトカゲが現れシムズを救ってくれた。ファージングと名付けた賢いトカゲに導かれ、シムズは火山島脱出を試みる。迫りくる噴火の直前、シムズはある「宝もの」を託されて……。ダーウィンはじめ実在の人物が登場し「魔法の島」ガラパゴスでの波乱万丈の冒険物語が描かれる。洞窟や火山、荒れ狂う海、謎の生物、「宝物」を必死で守るシムズの姿が、科学教師である作者の確かな筆とすぐれた訳でいきいきと描かれ、一気に読ませる魅力いっぱいの物語。</p> <p>(分類番号 933)</p>
	<p>13</p> <p>書名 コレラを防いだ男 関寛齋</p> <p>著者等 著 柳原三佳</p> <p>出版社 講談社</p> <p>定価 1,400</p> <p>対象 小学校高学年～</p> <p>発行 2022年11月</p>	<p>幕末、西洋医学を学んだ関寛齋は銚子で開業した。貧しい者からは治療代を受け取らないような医師だった。そのころ江戸でコレラが大流行し、埋葬が追い付かないほど犠牲者を出している。知った銚子の大商人浜口儀兵衛は、私財を投じて寛齋に予防と治療の研究を依頼する。寛齋が江戸で目にしたのは、疫病退散の祀りごとで神仏にすがるしかない人々と無数の棺桶、根拠のないデマと荒廃する町の姿だった。寝る間も惜しんで研究した寛齋は、新薬を手配し「コレラ予防策八ヶ条」を人々に広める。それは現代のコロナ対策とほぼ同じ内容であった。かくて銚子ではコレラ蔓延を防ぐことができたのだ。コレラ菌が発見される25年も前のことである。世界が3年も続くパンデミックのなかにいる今、冷静に先を見据えて人々を守った先人の熱い志に勇気をもらう。</p> <p>(分類番号 913)</p>
	<p>14</p> <p>書名 笹森くんのスカート</p> <p>著者等 著 神戸遥真 画 みずす</p> <p>出版社 講談社</p> <p>定価 1,400</p> <p>対象 中学生</p> <p>発行 2022年6月</p>	<p>夏休み明けの教室がざわめいた。身長180cm、明るくさわやかなイケメン高校生笹森くんがスカートを履いて登校してきたのだ。理由は「スカートはいたらどうなるかな、と思って」。物語は、文化祭を控えたクラスの生徒たちが、笹森くんのスカートをきっかけに、自分の心と向き合っていく姿を描く。体の悩みを持ち笹森くんに敗北感をいまく智也くん、笹森くんを性的マイノリティと思いこむ倉内さん、同性愛の二人の母がいる文乃さんは笹森君にひそかに期待し、恋愛がわからない一花さんは笹森くんに助けられ……。そして最後に笹森くんがスカートをはいた理由があきらかになる。LGBTQやアセクシャル、家族や友人関係や体の悩みなどを一人で抱え込まずに分ち合っていこうというメッセージが感じられ、さわやかな読後感が残る青春物語。気さくで心遣いのある笹森くんのキャラクターが魅力的だ。</p> <p>(分類番号 913)</p>
	<p>15</p> <p>書名 たぶんみんなは知らないこと</p> <p>著者等 著 福田隆浩 画 しんやゆう子</p> <p>出版社 講談社</p> <p>定価 1,400</p> <p>対象 小学校高学年～</p> <p>発行 2022年5月</p>	<p>すずちゃんは、ペンギンが大好きな五年生の女の子。脳性マヒのために体が不自由で言葉も出ないけれど、心の中ではいつもお話をしている。明るくがんばる母や、それぞれ違う特性のあるクラスの友達のことによく見て気持ちを考えている。でも周りの人たちはたぶんそれを知らず、すずちゃんにも難しい事情は分からない。物語はすずちゃんの思い、先生とママの連絡帳、学校のお便り、そして兄のブログで進んでいく。その中に子供たちのようすを丁寧にみとって試行錯誤しながら支援する先生や保護者、妹を思い、障がい者への差別に憤る兄の気持ちなどが見えてくる。みんなに見守られながらすこしずつ成長していくすずちゃんの姿が感動的だ。自らも支援学校に勤務する作者だからこそ描けた心に深くしみる物語。</p> <p>(分類番号 913)</p>
	<p>16</p> <p>書名 コイのレシピ</p> <p>著者等 著 塚田浩司</p> <p>出版社 ステキブックス</p> <p>定価 1,400</p> <p>対象 高校生～</p> <p>発行 2022年10月</p>	<p>地域で一番の進学校である佐久南高校に通う一年生の瀬野綾音は、半年前アイドルオーディションの最終審査に落選した。オーディションはドキュメンタリーとして地元でも放送されており、興味本位で近づいてきた友人を一喝してからクラスで浮いた存在となってしまう。誰もいない第二理科室で水槽の鯉を眺めつつ、ひとり昼食をとる日々だった。そこへ突然、イケメンで秀才、スポーツマン、同学年でも目立つ存在の櫻井潤がお手製の弁当を渡しにくる。そして、一緒に全日本高校生WASHOKUグランプリに出してほしいと申し出る。「和食の甲子園」とも呼ばれる大会を目指すことになった二人の青春を描いた「第2回ステキブンゲイ大賞」大賞受賞作。</p> <p>(分類番号 913)</p>

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">17</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>きみが忘れた世界のおわり</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 実石沙枝子</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>講談社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年10月</td> </tr> </table>	17		書名	きみが忘れた世界のおわり	著者等	著 実石沙枝子	出版社	講談社	定価	1,500	対象	高校生～	発行	2022年10月	<p>美術大学に通う木田蒼介には、高校時代に幼馴染の河井明音を交通事故で亡くし、彼女に関わる記憶も失くして、自分も足が不自由になった過去がある。完成間近の卒業制作を教授に酷評された蒼介は、作品を描き直すことを決める。描くのは思い出すことのできない明音の姿。明音に関する情報を集め、彼女を知る人に話を聞くうちに、蒼介の思い描く明音像を投影した幻覚のアカネが現れる。ふたりはどのように関わり合い、生きてきたのか。蒼介とアカネの様子を死者である明音の目線で綴っていく。蒼介がもがき苦しみながら失った記憶に向き合い、自分自身を取り戻し描いていく物語。第16回小説現代長編新人賞奨励賞受賞作。</p>
17																
書名	きみが忘れた世界のおわり															
著者等	著 実石沙枝子															
出版社	講談社															
定価	1,500															
対象	高校生～															
発行	2022年10月															
(分類番号 913)																
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">18</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>キッズ・アー・オールライト</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 丸山正樹</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>朝日新聞出版</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年9月</td> </tr> </table>	18		書名	キッズ・アー・オールライト	著者等	著 丸山正樹	出版社	朝日新聞出版	定価	1,600	対象	高校生～	発行	2022年9月	<p>河原はNPO法人「子どもの家」の代表で、虐待・差別・体罰・貧困といった子どもの人権救済活動に関わっている。ある日、SNS上で「このままだとあたしおばあちゃんころしちゃうかも」というヤングケアラーを思わせる書き込みを見つける。河原は「子どもの家」を手伝っている「うさこ」を通じて、発信元の子に連絡を取ろうとする。一方、半グレ集団に対して睨みを利かせている「シバリ」は、街角で襲われていた日系ブラジル人の少年ダヴィを助ける。彼は日本生まれ日本育ちだが、周囲は彼を「ガイジン」と呼ぶ。日本社会から排除された日系ブラジル人たちが群れ住む団地を訪れた「シバリ」は、ダヴィを学校に行かせるためにグループの男と対決をする。複雑な状況に置かれた子どもたちを救おうとする人々を描いた小説。</p>
18																
書名	キッズ・アー・オールライト															
著者等	著 丸山正樹															
出版社	朝日新聞出版															
定価	1,600															
対象	高校生～															
発行	2022年9月															
(分類番号 913)																
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">19</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>あの図書館の彼女たち</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 ジャネット・スケスリン・チャールズ 訳 高山祥子 装画 荻原美里 装幀 岡本歌織 (next door design)</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>東京創元社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>2,200</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年4月</td> </tr> </table>	19		書名	あの図書館の彼女たち	著者等	著 ジャネット・スケスリン・チャールズ 訳 高山祥子 装画 荻原美里 装幀 岡本歌織 (next door design)	出版社	東京創元社	定価	2,200	対象	高校生～	発行	2022年4月	<p>1939年、オディールはパリに実在するアメリカ図書館の司書に採用された。熱心に仕事に取り組んでいたオディールだったが、戦争が始まりドイツ軍がパリ市内に入ってくる。ナチス占領下の図書館の苦勞と努力、利用者のためを思う図書館員たちの勇気が描かれる。一方で、普通の真面目な人たちが脅かされ、分断され、傷つき、緊迫した状況の中で追い詰められていく。そして1983年、オディールは「戦争花嫁」と呼ばれ、アメリカの片田舎で孤獨に暮らしていた。仲良くなった隣家の少女リリーは母を亡くし、新しく来た継母が産んだ子どもの世話を引き受けている。オディールの過去と現在が交錯する中、辛い体験が次世代へと生かされていく物語。</p>
19																
書名	あの図書館の彼女たち															
著者等	著 ジャネット・スケスリン・チャールズ 訳 高山祥子 装画 荻原美里 装幀 岡本歌織 (next door design)															
出版社	東京創元社															
定価	2,200															
対象	高校生～															
発行	2022年4月															
(分類番号 933)																
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">20</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>「その他」の外国文学の翻訳者</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>白水社編集部 編</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>白水社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,900</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年2月</td> </tr> </table>	20		書名	「その他」の外国文学の翻訳者	著者等	白水社編集部 編	出版社	白水社	定価	1,900	対象	高校生～	発行	2022年2月	<p>翻訳されて出版される外国文学は英語で書かれていると思われがちだが、実際はそれだけではない。多くの外国文学が翻訳され読まれている中、日本では学習者が少ない「その他」とくくられる言語による文学がある。最近よく見かける韓国や中国の文学だけではなく、ポルトガル語やチェコ語、ベンガル語で書かれた文学など、マイナーと言われる言語でも存在感のある文学が翻訳されている。「その他」を生み出しているのはどのような翻訳者たちなのか？日本では馴染みの薄い言語で書かれた文学について熱意をもって紹介してきた翻訳者たちが、その言語との出会いや学習方法、翻訳の工夫、文学観を語る。9つの言語を操る9名それぞれの物語を伝えるインタビュー集。</p>
20																
書名	「その他」の外国文学の翻訳者															
著者等	白水社編集部 編															
出版社	白水社															
定価	1,900															
対象	高校生～															
発行	2022年2月															
(分類番号 801)																